

国東半島宇佐地域の農業遺産システム(案)

「クヌギ林とため池群によって維持されている
日本一の原木乾しいたけをはじめとする農林水産業システム」

地域の特徴

- ◆地形→両子山を中心に丸く突き出た半島
- ◆気候→温暖で降水量が少ない(瀬戸内型気候)
- ◆歴史→六郷満山・神仏習合(山岳仏教文化)
- ◆景観→水田、ため池群、クヌギ林が織り成す豊かな農村空間

農業遺産システムの概要

～クヌギ林が育む資源循環システム～

クヌギ林

- 日本一を誇るクヌギ林
- ・日本一のクヌギ蓄積量
 - ・量、品質ともに日本一の乾しいたけ生産へ原木を供給
 - ・落ち葉や使用済み原木が膨軟な保水マットを形成
 - ・ミネラル豊富な安定した湧水を維持
 - ・食料生産・生物多様性に大きく貢献

原木乾しいたけ生産

気象条件と広葉樹林内の「明るいほだ場」を活用

ため池群を活用した散水による高品質なしいたけ生産

全国乾椎茸品評会でたびたび最高賞を受賞
農林水産大臣賞11回
林野庁長官賞39回

自主研究グループ等の活発な活動による技術研鑽と担い手育成

水資源管理

ため池群

谷奥から下流域まで小規模で複数のため池を連携させた水供給システム

水田

効率的に労働力・用水を配分した日本唯一の農法(水稻+シチトウイ)が現在も継続

海

ミネラルに富んだ水が育む藻場や広大な干潟
カプトガニ
クルマエビ、ヒジキなど

資源の好循環を生み出す農業システムが確立

「クヌギ」が育む豊かな産物
地域環境を安定化し生態系を保全

